

令和5年7月20日

1 学期終業式 講話

おはようございます。

今日は1学期の終業式。4月から今日まで、振り返ればいろいろなことがありました。飯高生一人ひとりの心にも残っている出来事がきつとあるでしょう。それは、ある人にとっては大いなる喜びであったり、また、ある人にとってはちっぽけなことだけれど心に刺さる苦い出来事であったりするかもしれません。しかし、どんな出来事であっても自分が全く関わっていない出来事はないはずです。そして、その出来事には必ず「ことば」が関係しています。

周囲の人々について自分の思いばかりを言い過ぎたために「ああ。言わなければよかった」と意気消沈してまったり、反対に「ちゃんと言っておけばよかった」と後悔したりすることは誰にでも思い当たることです。また、このような「言い過ぎ」や「言いそびれ」はつい繰り返してしまい、「こんな性格だから」と自分に腹を立てることもあるかもしれません。でもそれって、「性格だから」と割り切ってしまうのもいいのでしょうか？その「ことば」が自分自身も含めて、周りの人間関係を難しくしていることもあります。

「人の性格はそう簡単には変わらない」と私は考えています。しかし、それは「性格を変えることはできない」という意味ではありません。簡単ではないけれど、自分自身を変えようと強く思い続ければ、時間はかかっても変えることはできると信じています。

アメリカの心理学者、ウィリアム・ジェームズは次のように言っています。

**心が変われば行動が変わる。
行動が変われば習慣が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。
人格が変われば運命が変わる。**

つまり、**意識の持ちようで、人生は変えられる**ということになります。

例えば、ゴミをその辺に捨ててもいいと思っているか、ゴミが落ちていたら拾おうと思っているかで、実際にゴミを捨てる人か拾う人かの違いが生まれます。ゴミを散らかしてもいいと思っていた人が、ゴミを捨てる人を見て、それは良くない行動で、周りのことを考えたら拾った方がいいと思えば、捨てていた行動が拾うという行動に変わります。

最初は、拾うことを躊躇（ちゅうちょ）するかもしれませんが、その行動を積み重ねれば、やがて何の迷いもなく拾えるようになります。それが習慣にな

るということです。

ゴミを散らかす人は周りの人からは信用されません。しかし、ゴミを拾おうと決め拾うことが当たり前になったその人は、周りの人から信頼されるようになります。

周りから信用されていない状況では、何をしても楽しさや充実感は得られず、周りから応援されることも少なく、運がいいとは言えません。しかし、周りから信頼されるようになると、自分のことを認めてくれる人や頼りにしてくれる人、応援してくれる人が増え、やりがいや充実感が増し、運命や運氣も向上していきます。

マザーテレサも同様の名言を残しています。

思考に気をつけなさい、
それはいつか言葉になるから。
言葉に気をつけなさい、
それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい、
それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい、
それはいつか性格になるから。
性格に気をつけなさい、
それはいつか運命になるから。

周囲の人のために、そして何よりも自分のために、この夏、考え方、心の持ち方、つまり、**自分が使う言葉に気を付けるようにしてみませんか**。その一歩が、自分の人生を良い方向に変えていくことに繋がるはずです。

9月1日の始業式には、みなさんの元気で充実した笑顔に会えることを楽しみにしています。



以上で終わります。